

最強の投資手法「スーパーボリンジャー」「スパンモデル」によるシンプルトレード

ドル円、ユーロドル、ユーロ円、豪ドル円、豪ドルドル、ポンド円に関して、今後 1 週間程度の相場予測として、日足と週足分析に限定した、簡単な分析・解説を掲載します。

日足や週足のスーパーボリンジャーは、主に、デイトレード・スイングトレードの大局観の把握や、ポジショントレードの売買判断に用います。分析は、全て、先週末 7 月 27 日終値時点での判断です。また、スパンモデルに関しては、注目すべきポイントだけを補足として付け加えています。尚、内容は、私の有料情報サービスからの一部抜粋です。

さらなる詳細分析やその他の通貨ペアの分析・解説(リアルタイム動画解説を含む)は、こちらをお勧めします。「マーフィーの有料メルマガ&掲示板」 <http://www.eagle-fly.com/mur/>

■ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反落局面継続中

○遅行スパン＝ローソク足に絡みつつも、陽転継続しており、基調としては、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1σラインの下方を推移するかぎり、引き続き、調整の反落局面と判断。尚、直近にて、陽転継続中の遅行スパンがローソク足に接近、接触してきており、一旦は、押し目買いのタイミングとも読める。また、バンド幅が収束傾向となっており、総じて、レンジ相場の地合いを強めているとも判断できる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場、本格上昇トレンド入りするかどうかの瀬戸際(ブル・ベアの分岐点)

○遅行スパン＝陽転継続しており、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝今後、終値が+1σラインの上方を推移し続け、バンド幅の拡大傾向が続くかぎり、本格上昇トレンド入りする可能性が高まる点、引き続き注意はしておきたい。

◆スパンモデル

買いシグナルが点灯継続しており、終値が+2σラインと+1σラインの間に位置していることから、依然として、逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点に注目したい。

■ユーロドル

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、+2σラインと-2σラインの間でのレンジ相場と判断。依然として、バンド幅が収束傾向となっており、総じて小動きのレンジ相場の地合いにあると読む。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反騰局面

○遅行スパン＝陰転継続しており、基調としては、売り優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が-1σラインの上方を推移するかぎり、調整の反騰局面と判断。

◆スパンモデル

売りシグナルの逆行パターンのユーロ買いサインが点灯している点、引き続き、注目したい場面。
特に、下ひげの長いローソク足が連続して出現しており、ユーロ底堅い展開を示唆している。

■ユーロ円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝調整の反落局面継続中

○遅行スパン＝陽転継続しており、基調として、買い優勢

○トレンド判断と戦略＝終値が+1 σ ラインの下方を推移するかぎり、調整の反落局面と判断。尚、陽転継続中の遅行スパンがローソク足に接近、接触してきており、一旦は押し目買いのチャンスとも読む。

◆スパンモデル

依然として、買いシグナルの逆行パターンの売りサイン、さらには、赤色スパンの逆行パターンの売りサインが点灯継続している点、引き続き注目したい。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

引き続き、売りシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点、そして、最終目標値の $+1\sigma$ ラインから $+2\sigma$ ラインのゾーンに達した点に注目したい。また、遅行スパンが、ローソク足が高値を付けたタイミングを通過してきており、今後、遅行スパンの下落、すなわち、ユーロ下落シナリオが想定される。

■豪ドル円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝陽転継続しつつもローソクに絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと -2σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観＝レンジ相場

○遅行スパン＝ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、バンド幅が収束傾向となっており、レンジ相場の地合いを強めているとも読め、目先、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断する。

◆スパンモデル

引き続き、赤色スパン、および、スパンモデルシグナルの逆行パターンの買いサインが点灯している点、そして、すでに、逆行パターンの買いサイン点灯時の最終ターゲットの+2 σ ラインに到達して以降、反落している点にも注目。

■ポンド円

<<<日足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略=目先、センターラインと-2 σ ラインの間をコアとするレンジ相場と判断。

◆スパンモデル

買いシグナルの逆行パターンの売りサインが点灯継続中である点、引き続き注目。尚、逆行の売りサインの最終ターゲットは、-2 σ ラインとなる。

<<<週足分析>>>

◆スーパーボリンジャー

○大局観=レンジ相場

○遅行スパン=ローソク足に絡み、レンジ相場を示唆

○トレンド判断と戦略＝目先、センターラインと -2σ ラインの間でのレンジ相場と判断。尚、遅行
スパンが、ローソク足が安値を付けるタイミングを通過する点に注目したい場面。つまりは、今後、
上昇に転じる展開がメインシナリオとなる。

■「マーフィー無料FX講座」のお知らせ

<http://www.span-model.com/ji/>

短期間でエッセンスを学べる無料コースとなっておりますので、ぜひお試しください。

■「無料メルマガ」のお知らせ

<http://www.span-model.com/mailmaga.html>

相場と友達になる手法を無料レポートで公開中です。

以上です。